

平成 31 年度 事 業 計 画

平成 31 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで

○ 概 要

我が国の総人口は平成 20 年にピークを迎え、以降減少傾向にある一方、65 歳以上の高齢者人口は、昭和 25 年以降一貫して増加しており、高齢者人口の割合は今後も上昇を続けるものと推計されております。

雇用情勢を見ると、景気回復が続く中、高齢者の就業者数は、13 年連続で前年に比べ増加し、特に非正規の職員・従業員は、平成 18 年の 122 万人から平成 28 年には 301 万人となり、10 年間で約 2.5 倍と大きく増加しております。

このように経済・雇用環境が好調であることは、就業を希望する高齢者に就業機会を提供することを使命とするシルバー人材センター事業にとっては追い風が吹いており、人手不足により高齢者の労働力が強く求められる中、シルバー派遣の実績が順調に伸びている事実がこれを雄弁に物語っております。

また、「働き方改革実行計画」においても、「シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会を提供する。」とされており、シルバー事業の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっております。

このため、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、「社会の支え手」を実践し、地域社会の大きな期待に応えるため、平成 31 年度においても、シルバー事業の「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、センター、連合本部及び全シ協が相互に一層の緊密な連携を図り、一丸となって事業推進に取り組んで参ります。

1. 高齢者の就業に関する情報の収集及び調査・研究 (公 1)

- (1) 会員の就業実態・能力・希望などを分析及び検討するとともに、就業開拓推進員を配置し、民間事業所へシルバー人材センターを活用するかどうかの意向調査「事業所登録制度(仮)」を行い、会員のニーズに合った就業

に関する情報の収集に努める。

- (2) インターネットを効果的に活用し、他市のシルバー人材センターで取り組んでいる好事例等の情報収集を行い、参考となる新たな事業を調査研究し事業の拡大に努める。

2. 高齢者の就業機会の確保及び提供 (公1)

- (1) 民間事業所、一般家庭、官公庁等に対してセンター事業のPR活動を推進し、会員の能力や希望にあった仕事を開拓し、就業機会の確保及び提供に努める。

- ① 市の広報誌「広報みき」に仕事の発注や会員募集の記事を掲載
- ② センターだより「シルバーみき」を発行(年3回)
- ③ チラシ、リーフレット等の全戸配布
- ④ ホームページを活用した啓発・広報活動

- (2) センターの契約金額の目標を4億6650万円とする。

又、(公社)兵庫県シルバー人材センター協会三木市事務所の運営による一般労働者派遣事業の契約金額の目標を3950万円とし、合わせて5億600万円を事業開拓目標とする。

職業分類別事業開拓目標

【請負】

(単位：人・円)

仕事の分類	民 間 事 業		公 共 事 業	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入
専門的・技術的職業	50	100,000	—	—
事務的職業	1,000	4,000,000	50	200,000
販売の職業	1,800	7,500,000	—	—
サービスの職業	10,500	50,000,000	16,850	53,700,000
保安の職業	1,000	8,000,000	2,500	4,500,000
農林漁業の職業	4,000	33,000,000	500	5,000,000
生産工程の職業	7,000	36,000,000	—	—
輸送・機械運転の職業	50	100,000	100	500,000
建設・採掘の職業	100	900,000	—	—
運搬・清掃・包装等の職業	47,300	201,900,000	15,000	61,100,000
合 計	72,800	341,500,000	35,000	125,000,000
総 合 計	延人員 107,800 人		事業収入 466,500,000 円	

【派遣】

(単位：人・円)

仕事の分類	民 間 事 業		公 共 事 業	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入
専門的・技術的職業	350	3,500,000	—	—
事務的職業	350	1,950,000	—	—
販売の職業	700	3,150,000	—	—
サービスの職業	1,500	7,100,000	—	—
農林漁業の職業	1,050	7,250,000	—	—
運搬・清掃・包装等の職業	3,250	16,550,000	—	—
合 計	7,200	39,500,000	—	—
総 合 計	延人員 7,200 人		事業収入 39,500,000 円	

3. 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の拡充 (公1)

少子高齢化が急速に進展する中で、全国的に人手不足問題が課題となっており、高年齢者を活用することが極めて重要である。

センターにおいても会員不足等により受注に応じられない状況になっていることから、事務局体制の拡充を図りマッチング機能を強化するとともに、高年齢者の就業促進を図る。

4. 有料職業紹介事業の実施 (公1)

臨時的・短期的又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高年齢者に対し、兵庫県シルバー人材センター協会の実施事務所として、有料の職業紹介を実施する。

5. 安全・適正就業の徹底 (公1)

センター事業において、会員の安全確保、事故防止は最も重要である。

「安全はすべてにおいて優先される」を合言葉に安全就業に対する意識の向上と事故撲滅に向けて以下の取組みを実施する。

- (1) 安全・適正就業強化月間（7月）に合わせ、「安全・適正就業推進大会」を開催し、会員の安全意識の向上を図る。
- (2) 安全第一・事故ゼロを目指して安全・適正就業委員会による就業現場への安全パトロールを実施する。
- (3) 安全就業を推進する中で、事故の減少に至らない場合は、会員の安全が第一と考え、安全・適正就業委員会で協議し「ペナルティ制度」の導入を検討して行きたい。

6. 就業相談等の実施と入会の促進（公1）

- (1) 毎月第3木曜日の「就業相談日」は継続的に実施しながら、随時、センター窓口や電話等で就業に関する相談を行い、未就業会員の解消に努める。
- (2) 入会を希望する高年齢者を対象に毎月2回（第1・第3水曜日）新入会員説明会を開催するとともに、昨年に引き続き地区別説明会及び女性限定の説明会（第2水曜日）を実施し、入会の促進に努める。
- (3) 会員夫婦等の「会費割引制度」を継続し、会員増強の取り組みを図る。

7. 組織体制の強化（公1）

- (1) 事務局職員の資質向上のため、兵シ協及び東播ブロック等の研修会に積極的参加するとともに、公益法人の多様化する事務に対して、執行体制の整備に努める。
- (2) 拠点センターに共通する事務作業については、兵シ協が主導する事務処理の集中化を活用して作業の効率化を図る。

8. ボランティア活動の推進（公1）

地域社会への貢献の一環として、美囊川リバーサイドパーク等の清掃ボランティア活動を実施し、センターの普及啓発に努める。

9. 各種講習会等の実施（公1）

就業に関する知識や技能向上を図るため各種講習会等を実施し、会員の資質向上と後継者の育成を図る。

10. 公益社団法人の適正運営（法人管理）

- (1) 公益法人としてセンター事業を円滑かつ適正に推進するため、知識や情報を収集するとともに、センター事業の安定的な運営に向けて財政基盤の整備に努める。
- (2) 会計処理の適正な処理を確保するため、公認会計士事務所による巡回監査（年2回）を実施する。

事業計画

開催日	内容
平成 31 年 4 月	平成 30 年度決算監査 第 1 回理事会
5 月	平成 31 年度定時総会 「シルバーみき」発行 第 115 号
6 月	第 1 回安全・適正就業委員会
7 月	安全・適正就業推進大会
8 月	第 1 回総務委員会
9 月	第 2 回理事会 「シルバーみき」発行 第 116 号
10 月	第 2 回安全・適正就業委員会 清掃ボランティア活動
11 月	第 2 回総務委員会 会員視察研修旅行
12 月	第 3 回理事会
平成 32 年 1 月	第 23 回会員作品展 「シルバーみき」発行 第 117 号
2 月	第 3 回総務委員会 心肺蘇生法（AED 使用）講習会
3 月	第 3 回安全・適正就業委員会 第 4 回理事会 交通安全講習会 草刈機取り扱い講習会

- * 新入会員説明会 …………… 毎月第 1・第 3 水曜日に開催
- * 女性限定説明会 …………… 毎月第 2 水曜日に開催
- * 就業相談日 …………… 毎月第 3 木曜日に実施